

2016年(平成28年) 7月19日 火曜日

廃バッテリー

対日輸入 9641トと高水準

韓国 6月、駆け込みか

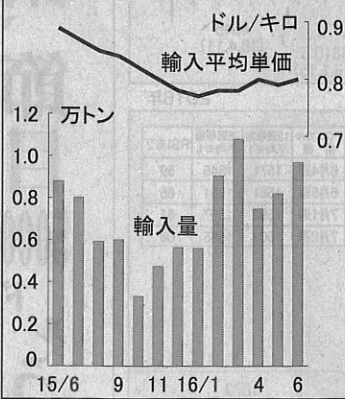
韓国関税庁がこのほど発表した廃バッテリー(使用済み自動車用鉛蓄電池)の6月の日本からの輸入量は、前月比18・1%増の9641トに増え、過去3番目の高水準だった。韓国国内で二次精錬メーカーが一斉摘発された影響で、輸入減少を見越した駆け込みがあったとみられる。

韓国では5月中旬、操業中の全社に当たるとみられる二次精錬メーカー11社が、ヒ素を含んだ精錬残渣を長年にわたり違法投棄していたとして当局に一斉摘発され、大手4社の

代表幹部が拘束された。ただし、操業停止の法的措置はなかったため、6月よりサイクル原料の輸入は続いた。

たのは6月24日のこと。それまで日本側の大半の関係者はその事情を知らなかったことから、日本からの調達に止まることを想定して、韓国が輸入を増やしたのでは、二次精錬

韓国の対日廃バッテリー輸入 (韓国貿易統計より作成)



メーカー関係者)とも考えられる。また、5月の両国の貿易統計では日本の輸出货量が10

00ト以上も多かったため、日本からの5月末の輸出増加分が翌月の韓国統計に反映され

た可能性もある。

6月は1万ト超を記録した3月に次ぐ水準。1-6月累計では5万642トと、前年同期比21%増の過去最多ペースで推移している。キロ当たりの輸入平均単価は前月比1%高の80円で、ほぼ横ばいだった。

韓国の6月総輸入量は前月比3・5%増の3万5642ト。日本に次ぐ主な輸入先はアラブ首長国連邦(UAE)6597ト、米国3536ト、ドミニカ共和国2938ト、トルゴ2892ト、シンガポール2302ト、ニュージーランド1888ト、ナイジェリア1261ト。対米輸入は1年10カ月ぶりの少なさだった。